

1日目シンポジウム シンポジスト&コーディネーター紹介!

野澤 和弘 氏

毎日新聞客員編集委員/植草学園大学副学長(教授)

1983年早稲田大学法学部卒業、毎日新聞入社。いじめ、引きこもり、児童虐待、障害者虐待などを報道する。論説委員(社会保障担当)を11年間務め2019年10月退社。現在は一般社団法人スローコミュニケーション代表、東京大学「障がい者のリアルに迫るゼミ」主任講師、上智大非常勤講師、社会保障審議会障害者部会委員、障害者政策委員会委員なども。

主な著書に「スローコミュニケーション~わかりやすい文章、わかちあう文化」(スローコミュニケーション出版)、「なんとなくは、生きられない。」

「障害者のリアル×東大生のリアル」「条例のある街」(ぶどう社)、

「あの夜、君が泣いたわけ」「殺さないで~児童虐待という犯罪」(中央法規)、

「わかりやすさの本質」(NHK出版)、「福祉を食う~虐待される障害者たち」

(毎日新聞社)「なぜ人は虐待するのか」(Sプランニング)など。

松本 タミ 氏

生年月日 1943年10月

最終学歴 神戸大学大学院博士課程中退

1970年04月 琉球政府立琉球大学(講師)

72年05月 琉球大学国立大学

76年04月 香川大学(助教授)

84年04月 同 教授

85年04月 同大学院教授

04年04月 同連合法務研究科(Law School)教授

09月 弁護士登録実業家としてスタート

07年03月 香川大学定年(63歳)退職 名誉教授となる
大学では、民法特に家族法を中心に、法社会学・女性の地位を併せて研究 以後実務家として

香川県弁護士会高齢者・

障害者支援センター運営委員会所属

社会活動の中心

かがわ後見ネットワーク

特定非営利活動法人後見ネットかがわ

肩書き

香川大学名誉教授・弁護士

和泉 とみ代 氏

所属 自立ケアシステム香川 管理者

1974年から18年間看護師として地域医療に貢献したのち、四国学院大学に入学。

その後大学院にて社会福祉学を専攻し、ノーマライゼーションの原理の生成・発展について研究を深めました。

2001年から香川短期大学にて介護福祉士養成にたずさわり、2009年より吉備国際大学において看護師養成をしてきました。

2018年からはノーマライゼーションの原理を具現化するため地域で暮らす障害をもつ人々の自立生活を支援したいと思いい日々を過ごしています。

主な著書

「ノーマライゼーションの原理 普遍化と社会変革を求めて」河東田博編著、1998年

「よくわかる障害者福祉」小澤温編著、2003年

シンポジウムコーディネーター 岡崎 昌枝 氏

おかざき社会福祉士事務所 代表 認定社会福祉士(地域社会・多文化)

公益社団法人香川県社会福祉士会前会長(2016~2020)

香川県立保育専門学校を卒業後、生活保護法救護施設で25年指導員として勤務。

その間、介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、精神保健福祉士を取得、

日本福祉大学大学院(通信課程)を修了。その後介護福祉士・社会福祉士養成を行って

いた香川短期大学で8年勤務。教員として働く傍ら京都女子大学大学院現代社会学研究科で

「地域社会で暮らす高齢者」の研究を行った。その経験を活かし、現在独立型社会福祉士事務所を開設した。

おもな業務は、大学地域連携研究センターのコーディネーター、

非常勤講師、後見業務(現在3件受任)である。